令和４年１月２６日

北海道士別東高等学校長　太田　吉祐

令和３年度　北海道士別東高等学校学校評価　教職員アンケート集計結果

この学校評価は、関係法令に基づいて実施するもので、職員による「自己評価」の結果を集計し、さらに,「学校関係者評価」経て、士別東高校ホームページ等を通じてその結果を広く公表するものです。

【評価基準】　４：そう思う　　３：だいたいそう思う　　２：あまり思わない　　１：思わない

領域	No	質　問　事　項	自己評価				R3評価平均		R2評価平均		R1評価平均		H30評価平均		総括
			4	3	2	1	項目	領域	項目	領域	項目	領域	項目	領域	
学校経営教育課程	1	学習指導・生徒指導を通して、学校教育目標や重点目標、経営方針の具現化に努めている。	6	3	0	0	3.7		3.6		3.8		3.7		◎地域から信頼され、応援される魅力ある学校づくりに務める。義務教育段階を含む基礎・基本の確実な定着を図っていくとともに、「士別東高校だからこそできる教育」を今後も推進し、更なる共通理解を深める。
	2	生徒の実態や地域の特性を活かした教育課程を編成し、実施に努めている。	8	1	0	0	3.9	3.8	3.9	3.7	3.6	3.7	3.9	3.8	
	3	保護者、地域、関係機関と連携・協力を深めながら、魅力ある学校づくりに努めている。	8	1	0	0	3.9		3.8		3.7		3.8		
学習指導	4	個に応じた指導の工夫や授業改善により基礎学力の定着に努めている。	8	1	0	0	3.9		3.8		3.6		3.5		◎個々の到達目標を達成するための細かな学習指導により、学ぶ意欲や基礎学力の向上を図るとともに、ホームルーム及び教科の担任間における連携を密にし、自己有用感を持てるような指導を通して学習習慣の意識を高める。
	5	シラバスの活用や反復学習、宿題等により、学習習慣の定着に努めている。	2	6	1	0	3.1	3.6	3.3	3.6	3.1	3.4	3.2	3.4	
	6	興味・関心に応じたわかりやすい授業の展開により、学ぶ意欲の向上に努めている。	7	2	0	0	3.8		3.7		3.6		3.6		
生徒指導	7	基本的生活習慣を身につけ、主体的に考え行動できる生徒の育成に努めている。	6	3	0	0	3.7		3.7		3.4		3.5		◎教職員が一体となり、日頃から生徒理解を深め、生徒指導事故の未然防止や規範意識の育成のために粘り強くきめ細かな統一した指導を今後も継続していく。地域の関係機関との連携を深め、生徒情報の共有に努める。
	8	共感的な生徒理解を基盤に、教員間で情報を共有し、教育相談体制を充実させることに努めている。	8	1	0	0	3.9	3.7	4.0	3.8	3.7	3.5	3.8	3.6	
	9	全教職員の共通理解により、一貫性のある、組織的な生徒指導に努めている。	6	3	0	0	3.7		3.7		3.3		3.4		
進路指導	10	学年に応じた系統的指導により、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。	6	3	0	0	3.7		3.4		3.3		3.6		◎生徒ひとり一人のニーズに合わせた進路実現を図っていく。望ましい勤労観・職業観を育成するために、就労体験や地域社会人の講話などを継続的に行い、自らの進路意識を高める方策を探すとともに、効果的な情報提供に努める。
	11	進路情報収集や提供を積極的に行い、生徒の能力・適正や興味関心に応じた進路指導に努めている。	5	4	0	0	3.6	3.7	3.3	3.5	3.4	3.4	3.8	3.7	
	12	地域の人材や教育資源を活用してキャリア教育の充実に努めている。	8	1	0	0	3.9		3.7		3.6		3.8		
いじめ対応	13	「いじめは人間として絶対に許されない」との強い認識に立って、生徒指導に努めている。	9	0	0	0	4.0		4.0		3.9		4.0		◎学校・保護者・地域との連携を密にし、生徒に必要な情報の共有化を図ることで、いじめの早期発見や諸問題に対する組織的な対応を行うことができた。今後も継続した指導に努める。
	14	生徒が発する危険信号を見逃さないようにして、いじめの早期発見に努めている。	8	1	0	0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9	
	15	いじめ防止に向け、他の教職員、保護者、関係機関と連携・協力するよう努めている。	8	1	0	0	3.9		3.9		3.8		3.8		
健康安全指導	16	自他の生命を尊重し、主体的に健康管理と安全確保ができる能力・態度を育成することに努めている。	6	3	0	0	3.7		3.7		3.3		3.8		◎情報を共有し、安全な環境を確保することで、安心感を与えられるように努める。 ◎管理職が中心となり危機管理マニュアルの見直しを推進していく。 ◎危機管理マニュアルの理解を深め、危機管理意識の向上を図る。
	17	校内外の環境美化や奉仕活動を通じて、社会に貢献する態度を育成することに努めている。	3	6	0	0	3.3	3.5	3.3	3.5	3.1	3.3	3.6	3.7	
	18	防災訓練の充実など、危機管理意識の向上と危機管理マニュアルの整備に努めている。	4	5	0	0	3.4		3.6		3.4		3.8		
組織運営	19	校務分掌の役割や意義を理解するため、基礎的・基本的な業務の知識習得に努めている。	3	6	0	0	3.3		3.4		3.7		3.5		◎校務分掌での役割を理解し、業務が滞らないように業務の引継ぎを丁寧に進めていく。 ◎業務内容の精査や検証を行い、効率的な業務実施や働き方改革に努めていく。 ◎整理保管を行うことで、働きやすい職場環境の整備や分掌業務の効率化に繋げていく。全教職員協力のもと、さらなら環境改善に努める。 ◎次年度より、業務の効率化を図るために、校務支援システムの導入を検討している。
	20	校務分掌の業務内容を適宜検証し、人員など適切に対応されている。	4	4	1	0	3.3		3.3		3.4		3.7		
	21	教職員間で情報と課題を共有するため、報告・連絡・相談が適切に行われている。	7	2	0	0	3.8	3.5	3.9	3.5	3.3	3.5	3.7	3.7	
	22	資質能力の向上や自己啓発活動のため、校内外の研修活動が充実している。	4	5	0	0	3.4		3.7		3.8		4.0		
	23	通信、HP、報道などを通じ、教育活動を積極的に発信し、開かれた学校づくりがなされている。	6	3	0	0	3.7		3.4		3.4		4.0		
	24	記録、文書、資料などが活用しやすく整理保管されており、業務の効率化が図られている。	4	4	1	0	3.3		3.4		3.4		3.4		
その他（経年比較対象外）	A	業務遂行、課題解決の取組などのスケジュール管理は適切である。	5	4	0	0	3.6		3.6		3.2		3.7		◎新型コロナウイルに対する感染予防対策として、マスクの着用・手指消毒等を今後も継続して行う。
	B	朝学習の内容や時間は適切である。	6	3	0	0	3.7		3.4		3.4		3.7		
	C	学校予算は、経営重点に基づき適切に執行されている。	7	2	0	0	3.8	3.7	3.6	3.6	3.4	3.5	3.6	3.7	
	D	士別東高校いじめ防止基本方針が保護者・地域に周知されている。	4	5	0	0	3.4		3.4		3.6		3.6		
	E	個人情報の保護や金銭管理について十分留意されている。	7	2	0	0	3.8		3.7		3.6		3.8		
	F	職員の服務規律保持に対する取組は十分なされている。	7	2	0	0	3.8		3.9		3.7		3.9		